

令和8年度 第1回学校運営協議会 報告

1 日 時 令和8年6月23日（火） 午後2時から4時まで

2 出席者

常葉大学保育学部准教授 赤塚 めぐみ
三島市青少年相談室相談員 勝又 博
国際ソロプチミスト駿河教育委員長 堅田 淳子
三島長陵高等学校 PTA 会長 千野 直美
校 長 八代 弘和
副校長 中田 真希
教 頭 嶋 諭志
事務長 土戸 美樹

3 校長挨拶

本校は、多様な生徒を受け入れて、困難を抱えた生徒のセーフティーネット的役割もあり、地域のなかで重要な位置を占めている。先日の県大会では運動部の生徒が活躍して全国大会・東海大会進出を勝ち取った生徒もあり、それぞれ学校生活を充実させるために努力している。また、県が主催する三田地区地域連絡協議会において県立高校が8校から4校へ整理統合される見通しとなったが、本校は存続することが決定された。

単位制高校として、地域や生徒の多様なニーズに応えている価値が評価された結果だと考える。

2 説明・協議事項等

- (1) 委員長・副委員長選出
- (2) 令和7年度学校関係者評価実施報告
- (3) 令和8年度学校評価委員会の組織について
- (4) 令和8年度学校経営計画について

静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第4条の承認を得た。

(5) 教育活動の説明

- ア 「図書だより」「ほけんだより」「相談室だより」等について
- イ いじめ対策基本方針について

(6) 意見交換及び学校運営協議会委員による助言

- （授業を見学して）生徒が主体的に授業に参加しており、雰囲気が良い。
- 1年次の出席率が高いことは素晴らしい。中間年次が課題だと伺っている。1年次の良い状況を分析し、中間年次へうまく繋げられると良い。
- 中学校でフィリピンと日本のハーフの生徒を相談室で担当しているが、日本語が理解できず不登校になった。授業見学で英語を堂々と話している生徒を見て、日本語

の理解が難しい生徒にも長陵には居場所があると感じた。

○先生方が一人ひとりの生徒を大切にしており生徒が恵まれていると感じた。居場所
カフェの取り組みも素晴らしく、生徒にとって学校にたくさん居場所がある。学校を
知ってもらうため、積極的にアピールをして欲しい。